



# SDG s 推進における地方自治体の役割

UN HABITAT  
FOR A BETTER URBAN FUTURE

国連人間居住計画アジア太平洋地域代表  
是澤 優





# 国際連合人間居住計画（国連ハビタット）

## United Nations Human Settlements Programme (UN-Habitat)



### SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### アジア太平洋地域事務所（in 福岡）

- 1997年設立、「福岡本部」と称される。
- 42カ国を管轄、16カ国で67プロジェクト（総予算額約297億円）を実施
- 17カ国にオフィスを置き、約1.7千人の職員（短期雇用を含む）が事業に従事



国連ハビタット事務局長・国連事務次長  
 マイムナー・モハメド・シャリフ  
 （元マレーシア・ペナン市長）

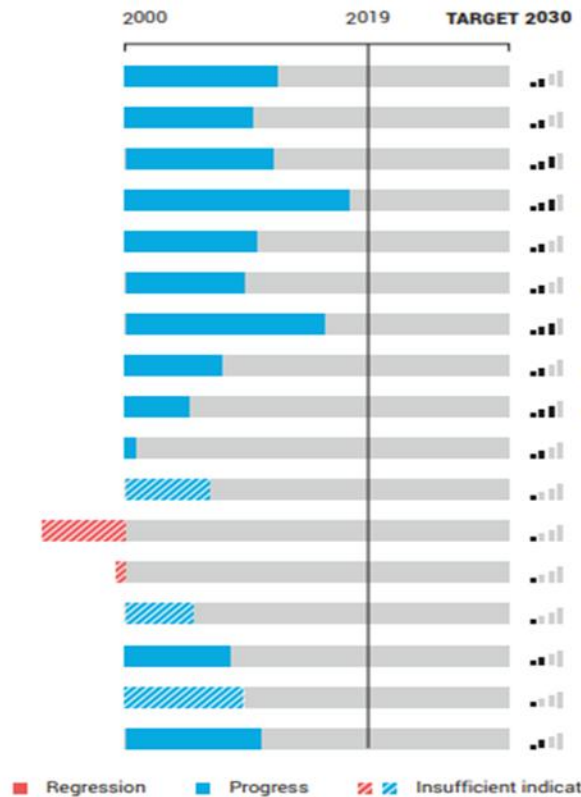




**COVID-19は、都市に根深く存在する不平等を浮き彫りにし、悪化させている。(略) 貧困撲滅の取組の成果が後退し、SDGs達成への道のりは、少なくとも10年分は逆行することが見込まれている。**

## SDG progress in the AP region

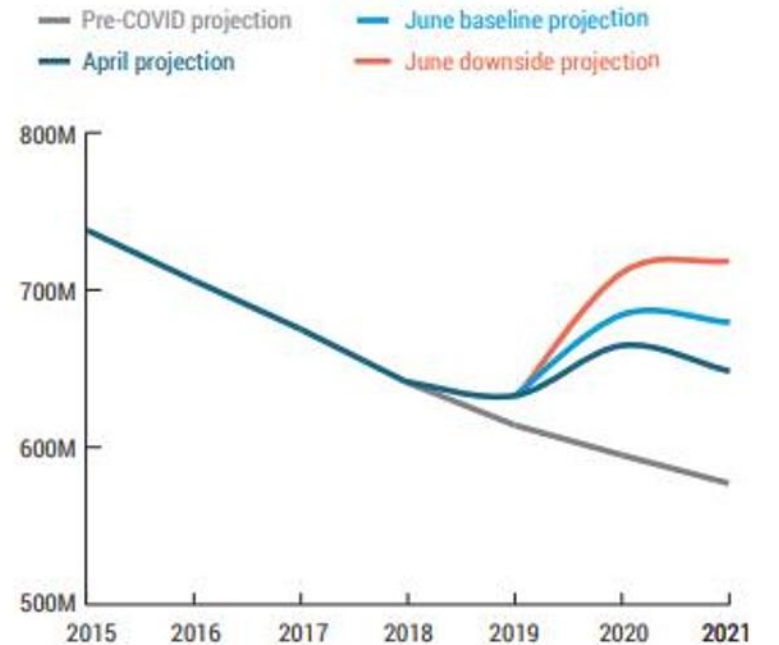
- Goal 1 No poverty
- Goal 2 Zero hunger
- Goal 3 Good health & well-being
- Goal 4 Quality education
- Goal 5 Gender equality
- Goal 6 Clean water & sanitation
- Goal 7 Affordable & clear energy
- Goal 8 Decent work & economic growth
- Goal 9 Industry innovation & infrastructure
- Goal 10 Reduced inequalities
- Goal 11 Sustainable cities & communities
- Goal 12 Responsible consumption & production
- Goal 13 Climate action
- Goal 14 Life under water
- Goal 15 Life on land
- Goal 16 Peace, justice & strong institutions
- Goal 17 Partnerships for the goals



Source) UNESCAP, Asia and the Pacific SDG Progress Report 2020 (March 2020)

## IMPACT ON GLOBAL EXTREME POVERTY

Projected number of people, in millions, to be in extreme poverty (defined as the number of people living on less than \$1.90 per day)



Source - World Bank GEP, June 2020



# 国連ハビタットのCOVID-19対応事業

ミャンマー



フィリピン



フィジー



エチオピア



カンボジア



ネパール



ケニア









# 日本の団体との協働・日本の技術の海外展開

第10回環境技術専門家国際会議（2019年10月）  
「海洋廃棄物・プラスチック廃棄物」



「福岡県国際協カリーダー育成プログラム」  
国連ハビタットミャンマー事務所訪問



九州産業大学「グローバルリーダーシッププログラム」



海洋プラスチックごみに関する国際環境技術  
専門家会議（2020年6月）



八女高校での出前授業





## ミャンマー：ヤンゴン市における「福岡方式」による 廃棄物処理緊急改善計画 (福岡市、福岡大学、民間企業コンソーシアムとの協力)

現地作業員への研修



ガス管取り付けの様子



集積場の復旧の様子 (改善前→改善後)



## ケニア・トルカナ県カロベイエイ新居 住区における株式会社大建の技術協力





## 国連事務総長2021年の新年メッセージ



[UN Live United Nations Web TV - 2021 New Year's Video Message - United Nations Secretary-General, António Guterres](#)

**気候変動とCOVID-19パンデミック**は、全ての人々が、インクルーシブで持続可能な将来への転換の一部として、共に立ち向かうことにのみ対処できる。

国連の2021年の主な目標（アンビション）は、**2050年までに世界中でカーボン・ニュートラルリティ（実質排出ゼロ）**のためのグローバルな**連帯**を構築することである。

このビジョンを実現するためには、**全ての政府、都市、企業、個人が役割をはたすことができる。**

人類の「平和」と自然との「平和」を構築し、**気候変動リスクへ対処し、COVID-19の拡散を食い止め、2021年を「ヒーリング（回復・癒し）」の一年としよう。**多くの人命を奪ってきたウイルスから、傷ついた経済・社会から、また、社会の分断からの「ヒーリング」であり、傷ついた地球の回復へ取り組み始めよう。





# Build Back Better, Greener and Fairer



*Thank you*

**UN HABITAT**  
FOR A BETTER URBAN FUTURE